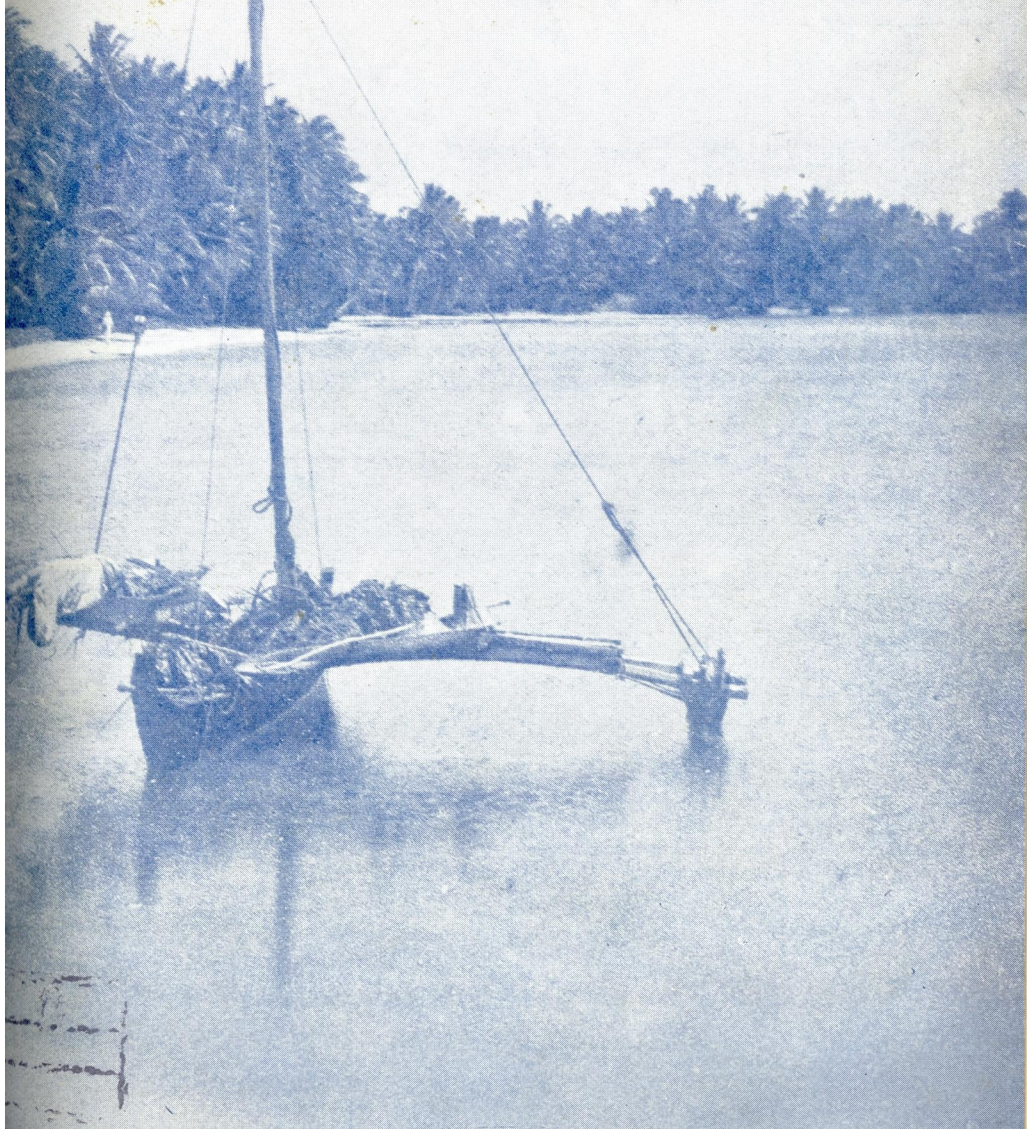


學大國帝都京
和昭
9.4. 2
館書圖屬附

天界

四月號

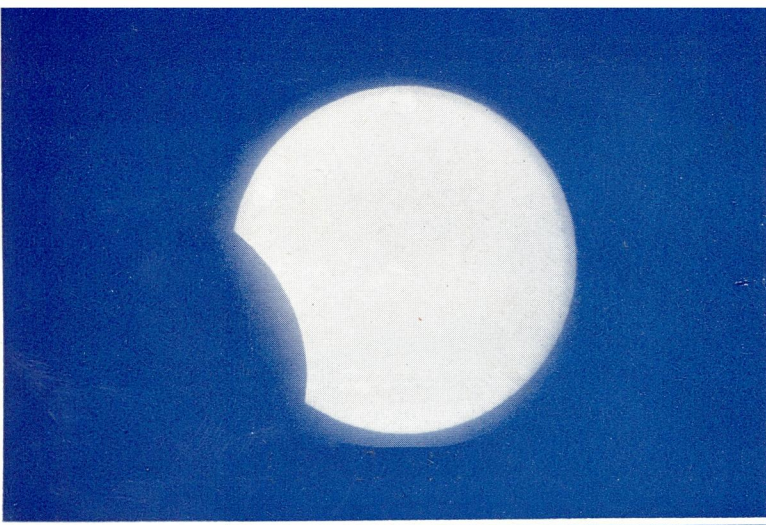


去る二月十四日の日食

(龜井氏撮影)

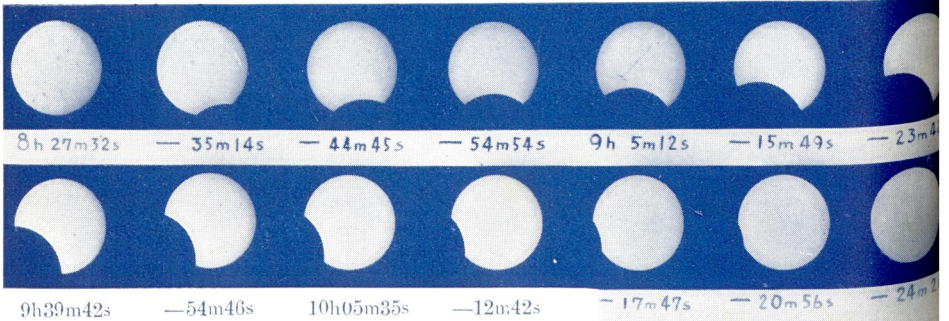
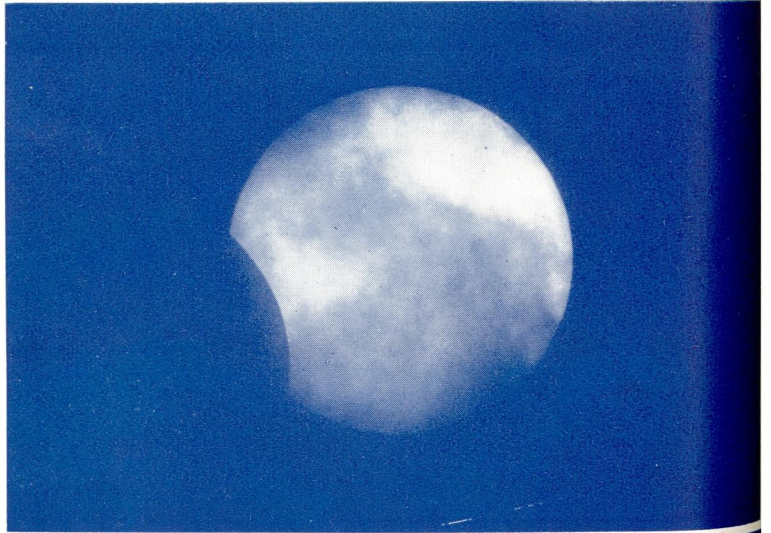
←午前9時58分30秒

花山天文臺撮影



午前10時3分13秒

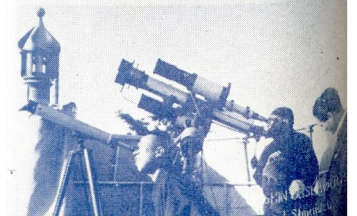
花山天文臺撮影



静岡縣島田町

清水眞一氏撮影

並びに同氏の知新觀象臺



昭和九年四月例會は下の如く開きます。好い時候になりましたから例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日： 四月十五日(日曜)午後三時

場所： 京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、「蹴上げ」で下車、それから東海道筋を五丁ほど東進し、「花山道路」に入る。

又は、三條大橋から「花山道路」入口まで乗合バスあり。

當日、下の如き興味ある講演があります。

講演： 理學士 小山秋雄氏 『變光星觀測法』

天 界 第 百 五 十 六 號 (第 十 四 卷) 昭 和 九 年 四 月 號 要 目

〔口繪寫眞〕 去二月14日の部分日食 (龜井壽彦氏及び清水眞一氏撮影),
昨年未の二大遊星掩蔽 (宮本氏), 金星の寫眞 (清水氏)

編輯室より	201
原子は人工により變轉す(講演)… 臺北帝大教授理學博士 荒勝 文策	202
花山だより	206. 最近の花山ブレンテン 206
初心者に適當な變光星	理學士 小山 秋雄 207
昭和八年中の邦天文文書一覽	岡 山 水野 千里 209
天文用語に關する私見 (1)	山 本 生 212
研究欄	天界新知識 (8件) 215
	東亞天文協會觀測部の欄○注意○流星課○彗星課○變星課 ○遊星面課○黃道光課○寫眞課○太陽課 219
日食遠征日誌 (2)	理學士 柴田 淑次 227
北米旅行記 (7)	理學博士 山本 一清 233
昭和九年四月の天象	238
東亞天文協會のペーじ	岡山支部より 240

Contents of the HEAVENS, No. 156 (April, 1934)

Pleiades, Lembang Observatory, Earliest Planetarium of Precision in Japan (Frontispiece); Editorial (201); *B. Arakatsu*, Artificial Transformations of Atoms (202); *A. Keyama*, Variables for Amateurs (207); *Ch. Mizuno*, Japanese Astronomical Literatures in I 33 (209); *I. Yanamoto*, My Views on Astronomical Terms (212); LATEST KNOWLEDGES ON ASTRONOMY (215); Columns of Observing Sections, O. A. A. (21.); *Y. Shibata*, Eclipse Trip. ii (227); *Issei Yamamoto*, My American Tour, vii (233); Heavens of April, 1934. (238); Association Notes (240).

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記の十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小楨孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一清)
7. 機械課 (課長 木邊成麿)
8. 寫眞課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本清, 幹事 木邊成麿, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫眞課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補佐スル。
- 第四條 東亞天文協會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事が出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計ハ月十五錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事。

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習 (各地デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌“天界”ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

會 員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ齎出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

役 員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評 議 員 若干名 役員ノ相談相手トナル

東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

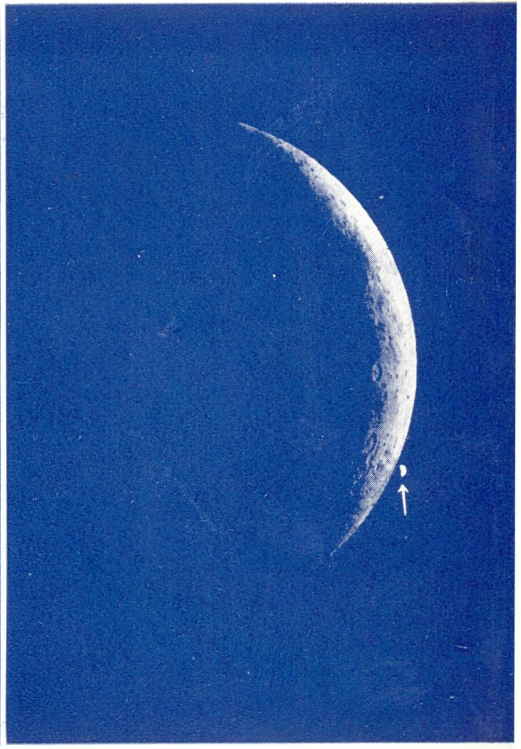
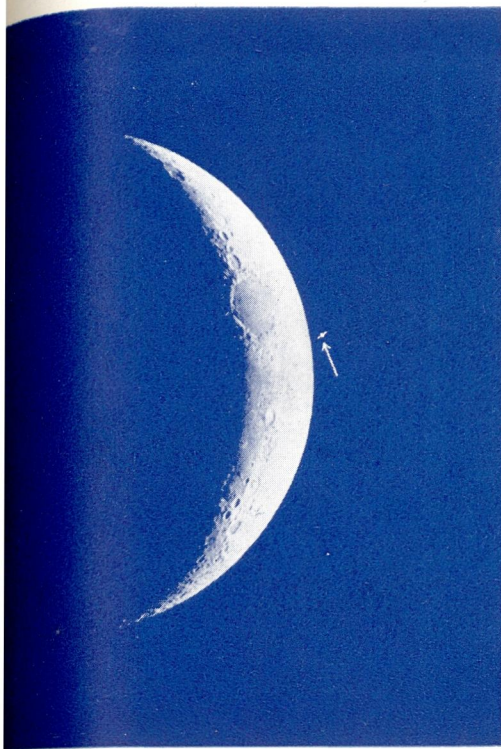
會長	山本一清(京都市梨ノ木町今出川下ル東)〔電話上5098〕
副會長	水野千里(岡山市門田21)
會計監督	池田政晴(京都市左京區岡崎黒谷町11)
幹事	竹田新一郎(京都市上京區石薬師通河原町西入)
同	稻葉通義(京都市花山天文臺)
會計	高城武夫(同上)〔電話上6165〕
本部	京都市山科, 花山天文臺
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市〔電話35〕—原名譽臺長〔電話75〕

一支 部一

同志社大學內〔電話上局430〕	室町錦上ル明倫小學校〔電話本局2236〕	重石	井橋	增太	郎達
京都市第三高等學校〔電話上局301〕	東區安土町三丁目船場小學校〔電話本局930〕	井伊	秀二	勇	郎次
大阪府豐中中學校〔電話岡町118〕	和歌山縣有田郡金屋	井小	村改	大	水
兵庫縣尼崎商工實修學校〔 〕	神戸市須磨區關守町〔須磨140〕	河	路	甲	午
姫路高等學校〔電話1145〕	岡山市門田21	河	路	甲	午
津山市山下96〔 〕	高松市	河	路	甲	午
高松市	松山高等學校〔電話松山395〕	河	路	甲	午
廣島市白島北町158	山口市山口縣立教育博物館〔電話294〕	河	路	甲	午
山口市丸山町梅光女學院〔 〕	福岡縣前原町西町	河	路	甲	午
熊本市縣立工業學校〔電話252〕	大牟田市通町二丁目207	河	路	甲	午
東區德川町6ノ6〔東4204〕	濱松高等工業學校〔電話973〕	河	路	甲	午
世田谷區弦卷町1の142〔電話世田谷3050〕	長野縣上田市原町三丁目〔 〕	河	路	甲	午
長野縣上田市	松本市筑摩部	河	路	甲	午
長野縣上諏訪中學校〔電話201〕	札幌市北六條西十一丁目	河	路	甲	午
旭川中學校內〔 〕	小樽市綠町三丁目八番地はノ47	河	路	甲	午
奉天市葵町12の2	大連市	河	路	甲	午
京城市	京城市	河	路	甲	午
臺北市大正町五條觀測所〔 〕	上海狄思威余里16	河	路	甲	午
P. O. Box 263, Brawley, Cal., U.S.A.	Fazenda 1a Allianca, E. Lussianvira,	河	路	甲	午
L. Noroeste, S. Paul, Brazil		河	路	甲	午

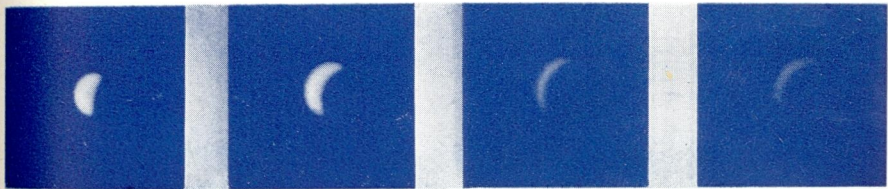
天界 第百五十六號 昭和九年三月二十四日印刷 〔定價金參拾錢〕 郵稅金壹錢

編輯兼發行者 京都市山科, 花山天文臺內(振替大阪56765) 東亞天文協會(代表者山本一清)
 印刷所 京都市中京區柳馬場三條南入 株式會社似玉堂(電本426. 427. 4501)
 印者 京都市中京區柳馬場三條南入 福井松之助
 賣者 東京市芝區南佐久間町2の3 恒星社(振替東京64738)



お断り 去る二月號表紙3頁の宮本氏撮影の寫眞は印刷所の手違ひから、金星、土星の星像を瑕と間違へて削られたので改めて此處に掲載します。

金星の寫眞



1933年十二月23日

18時30分

1934年一月11日

16時40分

一月22日

16時30分

一月27日

14時10分

(清水眞一氏)



椰子 茂る 日 食 の 南 洋